

モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行2026年 3月 31日

通算285号

三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

3月7日(土曜日) モリメイトフィールド内の木に名札を付ける

【参加者:、川端、土井、中島、森崎、池本、越智宏、梶川、木谷、芝田、鈴木哲、鈴木明、風呂矢、森浜牧 計13名】



北風が強く寒い1日であったが、土曜参加者4名を含め13名が参加した。木の話などをしながらモリメイトフィールド内を散策し、先月、印をつけておいた木を探した。見つけるとその場で用意しておいた木札に名前を書き、付けていった。木の幹を締め付けないように気を配りながら、シュロ縄をゆるめに丁寧にくり付けていった。

落葉樹で名前が見分けられない木があったので、葉が出てからもう一度名札を付ける作業を行うことにした。

3月12日(木曜日) チッパー機で残材処理

【参加者:池本、越智宏、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、森浜学、森浜牧、風呂矢、中 計12名】

チッパー機をクヌギの植樹地まで移動させ、除伐した木の枝や風などで折れて落下した枝の処理を行った。

太い枝は入れられないので太い枝と細い枝をチェーンソーで分ける人、チッパー機に枝を入れる人、枝を渡す人、枝を運んでくる人などに分かれ枝の処理をしていった。太い枝を入れないこと、長時間動かさないことなどに気をつけながら行ったので、ご老体のチッパー君も今回は止まることなく動いてくれた。

枝を粉碎して出たチップはモリメイトフィールド内の小径やぬかるんだところにまく予定である。



3月19日(木曜日) 花菖蒲園の整備とチップパー機で残材処理

【参加者： 越智、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、辻、中、森浜学、森浜牧

計10名】



新しく辻さんがモリメイトに参加。
花菖蒲の芽が出始めたので伸びる前に花菖蒲園の整備を行うことにした。

水路に泥が溜まって流れが悪くなっていたので、泥を掻きだして流れを良くした。一方で花菖蒲の芽を踏まないように草を刈っていった。景観もよくなりこののび育ってくれそうである。

その後、先週に引き続き、クヌギの植樹地にある残材の処理を行った。遠くにあるものはリヤカーに積み、チップパー機のところまで運んで行った。今回でチップパー機による残材処理はいったん終わることにした。

モリメイト会議

- ・シイタケランドの移設をどうするか
- ・令和7年度の会計報告
- ・事務所から「刈払機を使用時の草刈りは、安全第一で作業してください」との話



3月26日(木曜日) カブトムシの森周辺と杉林の整備

【参加者： 池本、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、辻、中、森浜学、森浜牧、山西

計13名】

モリメイトフィールドでは、春の訪れを告げる馬酔木が、白くて可愛い花をたくさんつけて、春の訪れを告げていた。



新しく山西さんがモリメイトに参加。

午前中は、「カブトムシの森」周辺の笹刈りを行った。寒い時期にも笹は伸び、歩きにくい状況であった。草刈り機で広い範囲を刈り、木の下などは鎌で刈っていった。

午後から杉林の小径の整備を行った。枯れて落ちた杉の葉や枝を取り除き、笹を刈って通りやすくした。道の両端に丸太を置くなどして通り道をはっきりさせ、座れるようにもした。去年作った木の階段を上っていくと広がった場所がある。枝葉を取り除き平らにならすといい空間ができた。切り株などを置いて、夏の暑さをしのげる場所になればいいと思う。これからも整備を続けていくことにした。

